

# 2019年度 事業報告書

(自 2019年 4月 1日)

(至 2020年 3月31日)

## 公益財団法人 内藤科学技術振興財団

当財団は、2012年4月1日付で公益財団法人へ移行し、研究助成金交付事業を通じ、愛知県内における科学技術の振興と地域産業の発展に寄与することを目的として活動して参りました。

2019年度の助成事業は、保有株式の一定の配当金収入を期待することが出来、助成対象を12機関22件とし、助成金を1件あたり100万円と致しました。

### 【 2019年度助成事業概要 】

- (1) 助成件数及び金額 : 全22件、2,200万円 (100万円/件)
- (2) 助成交付式 : 2019年 6月10日
- (3) 助成対象 : 別紙による

## 2019年度 研究助成金交付者

公益財団法人 内藤科学技術振興財団

※氏名 五十音順

No	所属 ・ 氏名	研究課題
1	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 伊藤雅子	愛知県の未利用バイオマス、 トマトの葉・茎の成分を含有した消毒剤の開発
2	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 化学材料室 犬飼直樹	カーボンナノファイバーを利用した 燃料電池用高性能電極の開発
3	名古屋大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 大田晃生	X線光電子分光法による 電子デバイス材料の複素誘電関数の決定
4	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命応用化学専攻 片山耕大	GPCRの動的構造変化把握のための 赤外分光法の利用可能性の検証
5	名古屋工業研究所 材料技術部 金属・表面技術研究室 加藤雅章 (1972年生、46歳、名工大院卒)	分散硬化を利用した高耐摩耗性銀合金めっきの開発
6	名城大学 理工学部 電気電子工学科 熊谷慎也	再生医療応用に向けた 非熱平衡大気圧プラズマ照射による 細胞増殖機序の解明に関する研究
7	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター 保蔵包装技術室 近藤温子	貝殻焼成水を用いた非加熱食品の 洗浄・雑菌に関する研究
8	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 島本太介 (1980年生、38歳、信州大院卒)	リサイクル炭素繊維を用いた 高弾性CFRP作製技術に関する研究
9	あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部 計測分析室 杉本貴紀	ステンレスの高温酸化による 表面酸化膜の微細構造解析
10	名古屋大学 大学院工学研究科 電気工学専攻 田中宏彦	核融合非接触ダイバート環境における 非拡散的プラズマ輸送増大現象の解明
11	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学系 永井萌土	超並列単一細胞操作を実現するしなやか自律適応型 マイクロノズルアレイの開発
12	名古屋工業大学 大学院工学研究科 物理工学専攻 中村翔太	キラル金属磁性体における らせん磁気構造の交流電流応答の解明
13	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命応用化学専攻 信川省吾	ポリマーナノ粒子分散による ポリメタクリル酸メチルフィルムの高複屈折化
14	産業技術総合研究所 磁性粉末冶金研究センター 細川明秀	良い方位を有したハード/ソフト相界面を最大化した ナノコンポジット磁石の創製

## 2019年度 研究助成金交付者

公益財団法人 内藤科学技術振興財団

※氏名 五十音順

No	所属 ・ 氏名	研究課題
15	名城大学 理工学部 化学教室 本田真己	高機能性天然色素の安定化技術の開発
16	名古屋工業大学 大学院工学研究科 電気機械工学専攻 前田佳弘	次世代産業メカトロニクス制御を拓く 制御パラメータの自動調整技術の研究
17	産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 三村憲一	ナノ形態制御による酸化物固体電解質材料の開発
18	名古屋市工業研究所 システム技術部 生産システム研究室 村田真伸	自動車衝突解析用の樹脂材料物性測定技術の開発
19	中部大学 工学部 応用化学科 守谷(森棟)せいら	ナノカーボンを用いた 高熱伝導性・低熱膨張性ポリオフィレンの開発
20	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 環境生命工学系 山田剛史	嫌気性廃水処理のバルキング破綻回避に向けた曙光： バルキング原因微生物群の機能解明と バルキングメカニズムの追求
21	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 電気電子情報工学系 山根啓輔	大面積化合物半導体太陽電池応用に向けた 希薄窒化物混晶の高効率ドーピングメカニズムの解明
22	名古屋産業科学研究所 中部ハイテクセンター	IT活用での研修& マッチング支援連携システムのトライアル

## 監査報告書

私ども監事は、公益財団法人 内藤科学技術振興財団の2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）の監査を実施する為、理事会その他の重要な会議に出席する他、随時理事から事業に関する報告を聞き、重要な書類を閲覧するなど適宜必要と認める方法により監査した結果を次のとおり報告します。

1. 事業報告書の内容は真実であると認めます。
2. 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、正味財産予算・実績対比などの内容は正しくかつ適法であると認めます。
3. 理事の業務執行の状況及び財産の状況について、不正の事実は認められません。

2020年 4 月 22 日

監事 高岡 次郎



監事 寺根 秀雄



監事 瀬瀬 泰生

